

研修参加報告書

(会派名 政進クラブ)

<研修目的>

新人議員であるがゆえに、安来市の財政状況を考える点で、最も重要である予算書を理解するため地方交付税等について、また用語等の意味と内容を理解し今後の議員活動の参考にするため

<研修概要一覧>

研修月日	講演テーマ	講師
平成 30 年 1月 24 日(水)	午前の部 これが自治体財政のすべてだ ① 午後の部 これが自治体財政のすべてだ ②	立命館大学 政策科学部 教授 博士 森 浩之 氏

<研修概要報告>

地方議員研究会セミナー

○場所：東京都中央区京橋 1-7-1 (戸田ビルディング)

TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター

○講義内容

午前の部「これが自治体財政のすべてだ①」

午後の部「これが自治体財政のすべてだ②」

○ 講師：立命館大学政策科学部 教授・博士 森 裕之 氏

○ 概要：自治体財政の基本として、地方財政計画、地方交付税と臨時財政対策債の仕組みと課題

：自治体財政について議論を行う上での重要点

<考 察 1> 田中武夫

新しい会派を結成後、新人議員 2 名と初めての研修会参加、地方自治体財政について、基礎を学んだ。

財源は、行政がルールに基づき使うもので、使途は透明性がもとめられる、議会は、チェック機能発揮が最大の責務。

義務的経費と裁量的経費については、過去と将来の状況を見据えると、特に、公共施設の統廃合について改めて早急な対応が求められていると痛感し、人口減少に合わせた街創りを安来市財政に働きかけ、議会での行動に移したいと改めて心に誓った。

<考 察 2> 岩崎 勉

財政とは、社会と経済を維持し発展させるために国と地方が担わなければならない役割で、その財源は国民から強制的に徴収する租税によって賄われるという前提のもと、歳入の 35%を地方交付税に依存している安来市にとって、一般財源の確保はきわめて重要であることが理解できました。また、いくらでも借金できるわけではなく財政指標をにらみながら身の丈に合った街づくりが大切だと感じました。

<考 察 3> 飯橋由久

今回のセミナーは新人の私にとって非常に有意義なセミナーとなった。

自治体運営の根幹ともいえる財政関係のセミナーでした。自治体と国との財政関係からはじまり、一般の市民では聞きなれない行政用語の説明、また一般財源と特定財源について、地方交付税及び財政健全化法などの専門的なことも多く学ぶことが出来た。さすがに一回ですべてを把握出来たわけではないが、市政の中でも財政面は特に最重要でもあるため、今後もさらに学び、市民の皆様のお役に立たなければならないと再確認しました。